

部長会議付議事案書（報告）

（令和7年8月26日）

提案課名 生涯学習課

報告者名 水島 一葉

事案名	第30回全国報徳サミット秦野市大会の開催について	資料 有
提案趣旨	「全国報徳サミット」は、二宮尊徳にゆかりのある全国報徳研究市町村協議会に加盟している17市町村が一堂に会し、報徳仕法の検証を通して、これからのまちづくりに必要な取組みを学ぶため、毎年開催されています。 二宮尊徳の高弟である安居院庄七と、報徳二宮神社の建設に尽力した草山貞胤が本市出身であるため、本市は、平成13年度に全国報徳研究市町村協議会に加盟し、平成25年度に「第19回全国報徳サミット秦野市大会」を初めて開催しました。 今回、市制施行70周年記念事業として、「第30回全国報徳サミット秦野市大会」を開催するため、次のとおり報告するものです。	
概要	1 「全国報徳サミット」の開催概要 (1) 開催日時 令和7年11月1日（土） 午前9時20分から午後0時30分まで（予定） ※ 10月31日（金）は、協議会総会・管内視察・交歓会を開催（協議会加盟の市町村関係者が対象） (2) 開催場所 メタックス体育館はだの（秦野市総合体育館） (3) 参加予定市町村 豊頃町（北海道）、相馬市・南相馬市・大熊町・浪江町・飯舘村（福島県）、筑西市・桜川市（茨城県）、日光市・真岡市・那須烏山市・茂木町（栃木県）、小田原市・秦野市（神奈川県）、掛川市・御殿場市（静岡県）、大台町（三重県）、その他開催趣旨に賛同する市町村 ※ 本市は、平成13年2月に小田原市長、また、同年8月に平成13年度第7回全国報徳サミット開催地である御殿場市長から、全国報徳研究市町村協議会への加盟の依頼があり、同年から全国報徳研究市町村協議会へ加盟した。 (4) 参加者 各市町村長（又は教育長）、市町村議会議員、各種団体会員、同関係者、一般市民等 約600名 (5) 来賓 国会議員、県議会議員、市議会議員、教育委員、社会教育委員 (6) 内容 報徳学習発表、基調講演、パネルディスカッション、大会宣言決議等	

経過	1 これまでの「全国報徳サミット」開催市町村 昭和63年度 第1回 神奈川県小田原市 平成8年度 第2回 静岡県掛川市 (以後は毎年、全国報徳研究市町村協議会加盟の市町村で開催) 平成25年度 第19回 神奈川県秦野市(本市初開催) 令和6年度 第29回 茨城県桜川市 2 本市における報徳仕法に関する取組み (1) 「報徳仕法を広める講演会」 平成25年度から令和元年度まで、毎年度開催 令和2年度からは、「はだの生涯学習講座」において、報徳仕法関連の講座を毎年度開催している。 (2) 「全国報徳サミット市民参加バスツアー」 平成26年度から毎年度開催 (3) 「副読本(報徳を広めた功労者草山貞胤と安居院庄七)」 小学校高学年児童から中学生を対象に、道徳や総合的な学習の時間に活用できる副読本を平成27年度に教育研究所が刊行し、各小中学校へ配布した。 また、児童・生徒のふるさと探訪の手引き書「秦野ふるさとめぐり」でも草山貞胤と安居院庄七を紹介し、ふるさと秦野検定等で活用しており、今年度は「報徳バージョン」を作成・実施している。 (4) 「子どもの市展 書道の部」 小・中学校を対象に毎年開催しているが、平成25年度から報徳部門を設け、小・中学生が継続して報徳仕法を学べるよう、機会の提供に努めている。 (5) 「秦野ふるさと科」の設置 教育委員会では、ふるさと秦野を愛する子ども達を育む新たなカリキュラムとして設置を進めており、小中学校では、「報徳仕法」についても学ぶこととしている。
今後の進め方	1 令和7年 9月30日 臨時議員連絡会での報告 2 令和7年10月 1日 市民へ周知(広報はだの・市役所ホームページ等) 3 令和7年10月16日 記者会見 4 令和7年11月 1日 「全国報徳サミット秦野市大会」の開催 5 令和8年2月 次回開催自治体へ引継ぎ

第30回全国報徳サミット秦野市大会 開催要項

テーマ：みんなでつなぐ報徳の教え 未来を創るひとづくり・まちづくり

1 開催趣旨

近年の社会情勢は、少子超高齢化の進行、若年層人口の減少、労働力不足、消費活動の低迷、地域の過疎化と都市部への人口集中、更には気候変動による自然災害の激甚化といった、複雑かつ重層的な課題に直面しています。

これらの課題は、社会の持続可能性を根底から揺るがし、未来を担う世代の生きづらさを一層深刻なものにしています。

このような混迷の時代において、二宮尊徳翁が江戸時代末期の社会的混乱の中、荒廃した農村を次々と再建し、生涯をかけて説いた「至誠」「勤労」「分度」「推譲」の教えは、特に未来を担う世代にとって、現代の社会的課題を解決する手がかりとなり、地域に根差した活気あふれるまちづくりやひとづくりにつながると考えます。

そこで、未来を担う子どもたちへ報徳の精神を継承するとともに、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、自らの手で未来を築いていくことのできる社会となるよう、二宮尊徳翁ゆかりの市町村が秦野市に一堂に集い、報徳仕法の検証を通して、これからのひとづくりやまちづくりに必要な取組みを学ぶため、全国報徳サミット秦野市大会をここに開催します。

- 2 主 催 第30回全国報徳サミット秦野市大会実行委員会
- 3 共 催 全国報徳研究市町村協議会、秦野市、秦野市教育委員会
- 4 後 援 文部科学省、神奈川県、神奈川県教育委員会
- 5 期 日 令和7年10月31日（金）から11月1日（土）まで
- 6 会 場 メタックス体育館はだの（秦野市総合体育館）
- 7 参加予定市町村 【二宮尊徳ゆかりの地 市町村】
 令和7年度全国報徳研究市町村協議会加盟17市町村
 北海道：豊頃町
 福島県：相馬市、南相馬市、大熊町、浪江町、飯舘村

茨城県：筑西市、桜川市

栃木県：日光市、真岡市、那須烏山市、茂木町

神奈川県：小田原市、秦野市

静岡県：掛川市、御殿場市

三重県：大台町

その他開催趣旨に賛同する市町村

8 参加者 全国報徳研究市町村協議会加盟の市町村長（又は教育長）、市町村議会議員、同関係者、各種団体会員、一般市民等 約600名

9 内容 管内視察【金井酒造店～蓑毛大日堂仁王門（国登録有形文化財）ほか～緑水庵（国登録有形文化財）～出雲大社相模分祠】、全国報徳研究市町村協議会総会、交歓会、報徳学習発表、基調講演、参加市町村パネルディスカッション、大会宣言決議 等

10 参加費 無 料

11 日 程

○令和7年10月31日（金） 【対象 市町村関係者】

13:30 全国報徳研究市町村協議会総会受付 （JAはだの本所 虹の間）

14:00 全国報徳研究市町村協議会総会 （JAはだの本所 虹の間）

15:00 管内視察

（金井酒造店～蓑毛大日堂仁王門ほか～緑水庵～出雲大社相模分祠）

17:30 全国報徳研究市町村協議会交歓会受付 （出雲記念館 神楽の間）

18:00 全国報徳研究市町村協議会交歓会 （出雲記念館 神楽の間）

アトラクション（瓜生野盆踊り・よさこい）

20:00 終了、宿泊施設へ誘導

○令和7年11月1日（土） 【対象 市民・関係団体等】

9:00 受付（市制施行50周年記念歌「With You ありがとう」手話動画：会場内）

※ 手話動画は、オープニングイベント前と休憩時に上映

9:20 多世代交流オープニングイベント

（小中学生参加の丹沢讃歌合唱、園児・児童参加のささら踊り）

- 9 : 45 開会行事
- ・ 開会挨拶
 - ・ 主催者挨拶
 - ・ 歓迎のことば
 - ・ 来賓祝辞
 - ・ 祝電披露
- 10 : 10 はだのっ子が学ぶ報徳の教え（小中学生による報徳学習発表）
- ・ メイキングオブ大会宣言（秦野こども未来づくり会議）
 - ・ 草山貞胤に学ぶ「菜種油の灯」（南小学校児童による発表）
- 10 : 30 休憩（休憩時間は 10 : 30～11 : 00）
- ・ ポスターセッション
- 安居院庄七に学ぶ「報徳仕法と SDGs」（東中学校生徒による発表）
(10 : 35～10 : 45)
- （秦野市立東中学校×東海大学×ソフトバンク×学生団体 E 4）
- 11 : 00 基調講演 講師：はだのふるさと大使（俳優） 合田 雅吏 氏
- 11 : 35 パネルディスカッション
- 【みんなでつなぐ報徳の教え 未来を創るひとづくり・まちづくり】
- ・ コーディネーター：学生団体 E 4
 - ・ パネリスト：協議会加盟首長等
- 12 : 15 大会宣言決議（秦野こども未来づくり会議）
- 12 : 20 閉会行事
- ・ 次回開催地への引継ぎ（栃木県真岡市 挨拶あり）
 - ・ 閉会挨拶
- 12 : 30 終了